

東京通信大学 学則

第1章 総則

(目的)

第1条 東京通信大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、幅広い職業人養成教育、総合的教養教育、地域の生涯学習機会の拠点としての機能を果たすとともに、時代が求める教養を兼ね備え、社会的課題を発見し解決に向けて積極的に取り組み、地域に貢献できる人材を、社会に送り出すことを目的とする。

(自己点検及び評価)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的・使命を果たすため、教育研究活動等について自ら点検及び評価を行う。

2. 自己点検及び評価に関する事項については、別に定める。

(教育・研究の資質の維持と向上)

第3条 本学は、常に教育の内容及び質を維持し、さらに改善し、向上させるための組織的な研究を実施するものとする。

2. 教育と研究の資質を改善、向上させるための研修等の実施については、別に定める。

第2章 学部学科及び修業年限

(学部学科)

第4条 本学に次の学部学科を置く。

(1) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科

(2) 人間福祉学部 人間福祉学科

2. 学部学科の目的は、次に定めるものとする。

(1) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学部には、情報マネジメント学科を置き、21世紀型の市民的教養としての情報技術と、マネジメントの諸知識と技法を活用し、21世紀の知識基盤社会における複雑かつ多様な諸課題を発見・理解・解決する能力を有する人材を育成する。

(2) 人間福祉学部 人間福祉学部には、人間福祉学科を置き、複合・複雑化した保健、医療、福祉の課題を把握し、医療的ケアと福祉サービスの双方を必要とする要支援者とその家族への相談支援の力と、多機関・多職種連携の担い手としての素養を身につけ、住民同士の支え合い活動を推進する力量を備えた福祉人材を育成する。

(修業年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。また、在籍期間は8年を超えることはできない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第6条 学年は春入学者の場合、4月1日に始まり翌年3月31日に終わり、秋入学者の場合、

3 学期開始日に始まり翌年 2 学期最終日に終わる。

2. 学年は 4 期に分ける。

(休業日)

第 7 条 休業日は毎年度に定めるものとする。

2. 学長が必要と認めるときは、休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日とすることがある。

第 4 章 学生等の種類

(学生等の種類)

第 8 条 本学が開設する授業科目の単位を修得することができる者は、正科生、科目等履修生とする。また、聴講生及び特修生は単位を修得できないが授業を受講できる者とする。

2. 正科生とは、本学を卒業することを目的として入学する者をいう。

3. 科目等履修生とは、単位修得を目的とし本学の授業科目を受講する者をいう。

4. 聴講生とは、本学の学生以外の者で、単位修得を目的としないで本学の授業科目を受講する者をいう。

5. 特修生とは、大学入学資格を有さず、授業科目を履修する者をいう。

第 5 章 学生の定員及び入学等

(入学資格)

第 9 条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者

(3) 外国において学校教育における 1 2 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者

(編入学)

第10条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者（学校教育法第104条第4項に定める独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者を含む。）又は大学に1年以上在学し、所定の単位を修得した者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
 - (5) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者
2. 編入学後に在籍すべき期間は、卒業もしくは修了した前項各号に掲げる学校及び課程における修業年限に相当する年数又は在籍していた年数のうち3年以内の期間を控除した期間とする。
3. 編入学を許可された者（以下「編入生」という。）の在籍期間は、前項により控除された期間を合わせて8年を超えることができない。

（入学定員及び収容定員）

第11条 本学の定員を次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	400名	200名	2,000名
人間福祉学部	人間福祉学科	400名	200名	2,000名

2. 欠員のある場合には、2年次及び4年次に編入学することを認めることができる。

（入学時期）

第12条 本学の入学及び編入学の時期は、毎年、春入学は4月、秋入学は9月または10月とする。ただし、特別な場合は、他の月での入学を認めることができる。

（志望者の出願）

第13条 本学に入学を志願する者は、本学が別に定める選考料を添えて所定の期日までに入学願書を提出しなければならない。

2. 選考料の納入等に関し、必要な事項は、別に定める。

（合格者の決定）

第14条 入学志願者に対して、本学は別に定める選考を行い、教授会の意見を聴いた上で、学長が合格者を決定する。

2. 入学志願者の選考方法については、別に定める。

（入学手続）

第15条 本学の入学手続は、次のとおりとする。

- (1) 選考の結果、学長が入学を許可した者で、本学に入学しようとする者は、許可した日から指定日以内に、別表4に定める入学金を添えて提出する。
- (2) 納付された入学金は、返還しない。
- (3) 授業料その他規定費用に関しては、入学金納付後、指定日以内に納付する。

(入学許可)

第16条 学長は、前条の規定により入学手続きを完了した者に対し、入学を許可する。

第6章 休学、復学、再入学、転入学、転学部、留学、退学及び除籍等

(休学)

第17条 正科生は、学期を単位として、届出により休学することができる。ただし、正科生が未成年者の場合は、保証人による連署の届出により休学することができる。

2. 休学期間は、通算して2年間を超えることができない。
3. 休学期間中は、届出により、学期の始めに限り復学することができる。
4. 休学期間は、第5条に規定する修業年限に算入しない。
5. 休学期間中であっても、学籍管理料は本学所定の期日までに納めなければならない。

(復学)

第18条 前条の者が復学しようとする場合は、届け出て学長の許可を受けなければならない。

2. 復学を許可された者は、休学期間に応じて復学する学科の学費を免除する。

(再入学)

第19条 退学者が再入学を願い出たときは、教授会の意見を聴いた上で、学長がこれを許可することがある。

(転入学)

第20条 他の大学に在籍している学生で、本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のあ
る場合に限り、選考の上、転入学を許可することができる。

2. 第10条第2項及び第3項の規定は、転入学を許可された者に準用する。

(転学部)

第21条 他の学部への転学部を志願する者は、定員に余裕のある場合に限り、選考の上これを
許可することがある。

2. 転学部した者の在学期間には、元の学部の在学期間の全部または一部を算入することが
できる。

(留学)

第22条 外国の大学等に留学を志願する者は、あらかじめ学長の許可を受けるものとする。

2. 前項の許可を得て留学した期間は、在学期間に通算することができる。

(転学)

第23条 他の大学に転学しようとする者は、その事由を記し、学長の許可を受けなければなら
ない。

(退学)

第24条 退学しようとする者は、その事由を記し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第25条 学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、学長は教授会の意見を聴いた上で、除籍することができる。

- (1) 本学が定めた指定日まで授業料等の納付を怠り督促しても納付しない者
- (2) 第5条に定める在籍期間を超えた者
- (3) 第17条に定める休学期間を超えた者
- (4) 学生が死亡した場合

第7章 授業科目、履修方法、試験及び成績の評価

(授業科目)

第26条 授業科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目及び自由科目とする。

2. 授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。
3. 授業科目の履修方法に関する事項は、別に定める。

(履修方法)

第27条 授業科目の履修方法は、メディアを利用した授業（以下「メディア授業」という。）、面接授業（以下「スクーリング」という）、印刷教材等を使用した通信授業（教材配布、質疑応答、課題回答、添削指導）、その他適切な方法によって行う。

(単位数の計算方法)

第28条 単位の計算方法は、次の各号のとおりとする。

- (1) メディア授業及びスクーリングは、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、15～30時間の授業をもって1単位とする。ただし、実習を行う科目については、30～45時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 印刷教材等を使用した授業については、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とする。
- (3) 卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(試験)

第29条 授業科目修了の単位認定は、所定の授業回数 $\frac{2}{3}$ 以上の出席を前提とし、メディア授業で行われる小テスト、メディア授業における掲示板の質疑応答、スクーリングの質疑応答、筆記試験（単位認定試験）、レポート課題の中から科目毎に適切な方法を組み合わせることとする。

(成績の評価)

第30条 授業科目の成績の評価は、S、A、B、C及びFとし、S、A、B及びCを合格とする。

(他大学等の授業科目の履修)

第31条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において修得した授業科目の単位を、60単位を超えない範囲で本学において修得した単位と認めることができる。

2. 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学で修得した授業科目の単位認定に際しても準用する。

3. 前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第32条 学長が教育上有益と認めるときは、大学設置基準第29条第1項に基づき文部科学大臣が定める大学以外の教育施設等において、学生が行う学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

2. 前項により与えることができる単位数は、前条により本学において履修したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3. 前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

(既修得単位の認定)

第33条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生の制度により修得した単位を含む)及び前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

2. 前項により認定できる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、第31条及び前条によりみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3. 前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

(資格)

第34条 各種資格取得及び受験資格の取得のために履修が必要な科目については別表3に定める。なお、社会福祉士国家試験受験資格と精神保健福祉士国家試験受験資格については、福祉系資格に関する規定で定める。

第8章 卒業及び学位授与

(卒業要件)

第35条 本学に正科生として4年以上在学し、別表2に定める卒業要件を満たした者には、教授会の意見を聴いた上で、学長が卒業を認定する。

(卒業時期)

第36条 卒業時期は、4年以内で別表2の卒業要件を満たした者は4年の最終学期の最終日を卒業日とし、そうでない者は卒業要件を満たした学期の最終日を卒業日とする。資格科目の履修に伴う卒業については別に定める。

(学位)

第37条 本学を卒業した者には以下の学位を授与する。

(1) 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科： 学士（情報マネジメント）

(2) 人間福祉学部 人間福祉学科： 学士（人間福祉）

2. 学位及び学位の授与については、別に定める東京通信大学学位規定による。

（早期卒業）

第38条 第35条の規定にかかわらず、本学に3年以上在学した者が、卒業要件の単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、早期卒業することができる。

2. 本学に2年在学し、2年次修了時点において84単位以上を優秀な成績で取得している者で、早期卒業を希望する場合は、2年次修了時点で申し出て、所定の審査を受けること。

第9章 賞罰

（表彰）

第39条 学生として顕彰に値する行為があった者は、学長が教授会の意見を聴いた上で、表彰することがある。

（懲戒）

第40条 学長は、本学の学則もしくは規定等に反し、または学生の本分に反する行為があった者を懲戒に処することができる。

2. 前項の懲戒の種類は、戒告、停学及び退学とする。

3. 前項の退学は、次の各号の一に該当する場合に行うことがある。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 成業の見込みがないと認められた者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第10章 選考料、入学金及び授業料等

（授業料等）

第41条 選考料、入学金及び授業料等の金額は、別表4のとおりとする。

（授業料等の納付）

第42条 選考料、入学金及び授業料等は、別に定める期日までに納付しなければならない。

（納付した授業料等の取扱い）

第43条 納付した選考料、入学金及び授業料等は返還しない。

2. 選考料、入学金及び授業料等の取扱いに関する事項は、別に定める。

第11章 科目等履修生

（履修資格）

第44条 本学において開講する授業科目の一部を履修しようとする者がいるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、本学の出願資格を満たす者を対象に、書類審査により選考し、科目等履修生として授業の履修を許可することができる。

2. 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(履修期間)

第45条 科目等履修生の在籍期間は1学期間とする。ただし、新たに登録の上延長を認めることができる。

(単位認定)

第46条 科目等履修生が、当該授業科目について単位修得試験を受け、これに合格したときは所定の単位を認定する。

第12章 特修生

(特修生)

第47条 満15歳以上で学ぶ意思のある者に本学における教育機会を提供するために実施する。教育に支障のない限り、所定の出願条件を満たす者を対象とし、生年月日を証明する書類を含む書類審査により選考し特修生として履修を許可することができる。

2. 特修生に関し必要な事項は、別に定める。

第13章 聴講生

(聴講資格)

第48条 本学の出願資格を満たす者を対象とし、本学において開講する授業科目の一部を聴講しようとする者がいるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、選考の上、聴講生として授業の聴講を許可することができる。

2. 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講期間)

第49条 聴講生の在籍期間は、1学期間とする。ただし、新たに登録の上延長を認めることができる。

(単位の認定)

第50条 聴講した授業科目については、単位を授与しない。

第14章 履修証明プログラム

(履修証明プログラム)

第51条 本学の教育研究上の資源を活かし、社会人等への学習機会を広く提供するため、学校教育法第105条に規定する課程として履修証明プログラムを開設することができる。

第15章 公開講座等

(公開講座等)

第52条 本学は、広く地域・社会に対し学習の機会を提供するとともに、一般市民の教養を高め文化の向上に資するため、公開講座等を開設することができる。

第16章 教職員組織

(職員の種類)

第53条 学校教育法第92条の定めに従い、本学に、学長、教授、准教授、専任講師、助教、助手及び職員その他必要な教職員を置く。

2. 学長は、本学の校務をつかさどり、本学教職員を統督する。

(副学長)

第54条 本学に、副学長を置くことができる。

2. 副学長は、学長の職務を助ける。

(学部長)

第55条 学校教育法第92条の定めに従い、本学の各学部に、学部長を置く。なお、学部を構成する学科に学科長を置くことができる。

2. 学部長は、学部に関する事項を、学科長は学科に関する事項を統括する。

(事務組織)

第56条 本学に事務組織として管理部を置く。

第17章 教授会等

(教授会)

第57条 本学に、各学部の教授会を置く。

2. 教授会に関する事項については、別に定める。

(委員会)

第58条 本学に、大学運営に必要な専門委員会を置くことができる。

2. 委員会に関する事項については、別に定める。

(大学評議会)

第59条 本学に、教学にかかわる全学的に重要な事項を審議することを目的とする大学評議会を置く。

2. 大学評議会に関する事項については、別に定める。

第18章 附属施設及び附置組織

(図書館)

第60条 本学に、図書館を置き、図書館長を置くことができる。

2. 図書館長は、図書館に関する事項を主管する。図書館に関する事項については、別に定める。

(附置組織・機関)

第61条 本学に、以下の全学的な附置組織・機関を置く。

- (1) メディア教育支援センター
- (2) アドミッション・センター
- (3) キャリア・サポートセンター

(4) ダイバーシティ・センター

(5) 地域連携センター

2. 附置組織・機関に関する事項については、別に定める。

第19章 雑則

(施行の細目)

第62条 この学則に定めるものを除くほか、この学則の実施の手続きその他実施について必要な細目は学長が別に定める。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

別表1 東京通信大学 授業科目

(1) 情報マネジメント学部

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考	
教養教育科目	導入科目	学術研究の本質	1①・②・③・④	1	必修	講義	メディア	
		日本語文章論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		アカデミックライティング	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		プレゼンテーションA	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		プレゼンテーションB	1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会と倫理	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		知的生産の技術	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	外国語科目	基礎英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		基礎英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		実践英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		実践英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		応用英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		応用英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		総合英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	情報科目	文献・情報調査法	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		情報基礎I	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		情報基礎II	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	科学の探究科目	A群	東アジアの歴史と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と歴史	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と教育	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			文化人類学	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			相互扶助の経済と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			選択理論心理学概論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			ジェンダー論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			コミュニケーション論A	1③・④	1	選択必修	講義	メディア
			多文化共生A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			多文化共生B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
			都市の文化と思想	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会思想史	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
			先進技術と情報生態の人類学	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			比較文化関係論	1③・④	1	選択必修	講義	メディア
			グローバリゼーション	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
社会と宗教			1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
生命と倫理			1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
文化社会学			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
現代文化論			2③・④	1	選択必修	講義	メディア	
コミュニケーション論B			2③・④	1	選択必修	講義	メディア	
社会と先端医療			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
保健福祉学概論			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
社会と環境	2②・④	1	選択必修	講義	メディア			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考	
	B群	日本国憲法	1①・③	2	選択必修	講義	メディア	
		社会と福祉	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会学概論B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会心理学概論A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会心理学概論B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		経済人類学	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		地域経済とグローバリズム	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		アジア経済論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		政治学	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		国際化と日本	1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
		国際関係概論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		問題発見・解決の方法	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		脱近代社会と労働の社会学	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		役割離脱論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		コミュニティの国際比較	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		人の移動と民族問題	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査概論Ⅰ	2①	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	2②	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査方法論Ⅰ	2③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査方法論Ⅱ	2④	1	選択必修	講義	メディア	
		協調の手法	2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会学概論A	2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		戦後社会論	2②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会システム論	2②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		C群	数学入門Ⅰ	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			数学入門Ⅱ	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
	数学応用Ⅰ		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	数学応用Ⅱ		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	物理学概論Ⅰ		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	物理学概論Ⅱ		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	生物学概論A		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	生物学概論B		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	予防医学		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	生命と人間		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	D群	現代社会の課題と探究A	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会の課題と探究B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会の課題と探究C	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	キャリア形成科目	ボランティア論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		キャリアデザイン	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	健康科目	運動と健康A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		運動と健康B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		アスリートの心理と身体	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
脳とこころ・身体		1②・④	1	選択必修	講義	メディア		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考	
専門教育科目	情報社会	情報マネジメント総論A	1③・④	1	必修	講義	メディア	
		情報マネジメント総論B	1③・④	1	必修	講義	メディア	
		情報倫理	2①・③	1	必修	講義	メディア	
		デザイン思考概論	2②・④	1	必修	講義	メディア	
		社会と情報Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア	
		社会と情報Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア	
		情報化社会とテクノロジーⅠ	3①・③	1	必修	講義	メディア	
		情報化社会とテクノロジーⅡ	3②・④	1	必修	講義	メディア	
		生活環境デザインⅠ	3①・③	1	必修	講義	メディア	
		生活環境デザインⅡ	3②・④	1	必修	講義	メディア	
		ヒューマンインタフェースⅠ	3①・③	1	必修	講義	メディア	
		ヒューマンインタフェースⅡ	3②・④	1	必修	講義	メディア	
		先端応用	4①・③	1	必修	講義	メディア	
		ネットワークとサービスⅠ	4①・③	1	必修	講義	メディア	
		ネットワークとサービスⅡ	4②・④	1	必修	講義	メディア	
	テクノロジーマーケティングⅠ	4①・③	1	必修	講義	メディア		
	テクノロジーマーケティングⅡ	4②・④	1	必修	講義	メディア		
	社会調査	社会情報処理Ⅰ	1①・③	1	必修	講義	メディア	
		社会情報処理Ⅱ	1②・④	1	必修	講義	メディア	
		質的調査Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		質的調査Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		社会調査演習Ⅰ	4①	1	選択	演習	メディア・面接	
		社会調査演習Ⅱ	4②	1	選択	演習	メディア・面接	
		社会調査演習Ⅲ	4③	1	選択	演習	メディア・面接	
	社会調査演習Ⅳ	4④	1	選択	演習	メディア・面接		
	メディア	取材の情報学	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		メディアの社会学	2①・③	1	必修	講義	メディア	
		情報メディアとデザインの文明論	2①・③	1	必修	講義	メディア	
		スポーツメディア論	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		教授メディアと学習	2②・④	1	必修	講義	メディア	
		ネット依存と心理	2②・④	1	必修	講義	メディア	
		新聞情報マネジメント	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		国際政治と情報マネジメント	3②・④	1	選択	講義	メディア	
	広告論	3②・④	1	選択	講義	メディア		
	情報システム	プログラミング	初級プログラミングⅠ	1①・③	1	必修	講義	メディア
			初級プログラミングⅡ	1②・④	1	必修	講義	メディア
			初級プログラミング演習Ⅰ	2①・③	1	必修	演習	メディア
			初級プログラミング演習Ⅱ	2②・④	1	必修	演習	メディア
			初級オブジェクト指向プログラミング	2①・③	1	必修	講義	メディア
			初級セキュアプログラミング	2②・④	1	必修	講義	メディア
			データ構造とアルゴリズムⅠ	3①・③	1	必修	講義	メディア
			データ構造とアルゴリズムⅡ	3②・④	1	必修	講義	メディア
			プログラミング演習Ⅰ	3①	1	必修	演習	メディア
			プログラミング演習Ⅱ	3②	1	必修	演習	メディア
			プログラミング演習Ⅲ	3③	1	必修	演習	メディア
プログラミング演習Ⅳ			3④	1	必修	演習	メディア	
情報システム		ソフトウェア総論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
		ソフトウェア総論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア	
		ハードウェア総論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
	ハードウェア総論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア		
	システム総論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア		
	システム総論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア		
	システム設計Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア		
	システム設計Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア		
	データベース論Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア		
	データベース論Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア		
	インターネット技術Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア		
	インターネット技術Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア		
	サーバ構築演習Ⅰ	3③	1	必修	演習	メディア		
サーバ構築演習Ⅱ	3④	1	必修	演習	メディア			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考
情報とセキュリティ	社会とサイバーセキュリティ	3①・③	1	必修	講義	メディア
	情報セキュリティⅠ	3①・③	1	必修	講義	メディア
	情報セキュリティⅡ	3②・④	1	必修	講義	メディア
	情報セキュリティと人間心理Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア
	情報セキュリティと人間心理Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア
	データ匿名化演習Ⅰ	3①・③	1	必修	演習	メディア
	データ匿名化演習Ⅱ	3②・④	1	必修	演習	メディア
	情報マネジメント戦略Ⅰ	4①・③	1	必修	講義	メディア
	情報マネジメント戦略Ⅱ	4②・④	1	必修	講義	メディア
マネジメント基礎	経済学入門	1①・③	1	必修	講義	メディア
	ビジネスマナー	2①・③	1	必修	講義	メディア
	財政学	2①・③	1	選択	講義	メディア
	ビジネスライティングA	2①・③	1	必修	講義	メディア
	ビジネスライティングB	2②・④	1	必修	講義	メディア
	社会統計学Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア
	社会統計学Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア
	社会と経済	2①・③	1	選択	講義	メディア
	消費組合論	2②・④	1	選択	講義	メディア
	経営学入門	2①・③	1	必修	講義	メディア
	会計学	2②・④	1	選択	講義	メディア
	人材マネジメント	3①・③	1	選択	講義	メディア
	行政法A	3①・③	1	選択	講義	メディア
行政法B	3②・④	1	選択	講義	メディア	
企業と会計	簿記概論	1①・③	1	必修	講義	メディア
	簿記各論	2②・④	1	選択	講義	メディア
	財務会計概論	2①・③	1	選択	講義	メディア
	財務会計各論	3②・④	1	選択	講義	メディア
	管理会計	3②・④	1	選択	講義	メディア
	インターンシップA	3③～④	1	選択	実習	メディア・面接
	インターンシップB	3③～④	2	選択	実習	メディア・面接
	企業社会と労働法	4①・③	1	選択	講義	メディア
	企業と会社法	4②・④	1	選択	講義	メディア
経営と組織	IT産業論	2①・③	1	必修	講義	メディア
	ベンチャー論	2②・④	1	必修	講義	メディア
	組織行動論Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア
	組織行動論Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア
	マーケティング概論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア
	マーケティング概論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア
	経営戦略	3①・③	1	必修	講義	メディア
	ビジネスデータ分析Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア
	ビジネスデータ分析Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア
	情報ビジネス論Ⅰ	3①・③	1	必修	講義	メディア
	情報ビジネス論Ⅱ	3②・④	1	必修	講義	メディア
	リーダーシップ論Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア
	リーダーシップ論Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア
	プロジェクトマネジメントの手法	3②・④	1	必修	講義	メディア
	経営組織論	3②・④	1	必修	講義	メディア
	経営学特論	4①・③	1	選択	講義	メディア
	国際経営論	4②・④	1	選択	講義	メディア
	卒業研究	リサーチレポート	4通	4	自由	演習

(2) 人間福祉学部

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考	
教養教育科目	導入科目	学術研究の本質	1①・②・③・④	1	必修	講義	メディア	
		日本語文章論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		アカデミックライティング	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		プレゼンテーションA	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		プレゼンテーションB	1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会と倫理	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		知的生産の技術	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	外国語科目	基礎英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		基礎英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		実践英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		実践英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		応用英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		応用英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		総合英語A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		総合英語B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	情報科目	文献・情報調査法	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		情報基礎I	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		情報基礎II	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	科学の探究科目	A群	東アジアの歴史と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と歴史	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と教育	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			社会と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			文化人類学	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			相互扶助の経済と文化	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			選択理論心理学概論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			ジェンダー論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			コミュニケーション論A	1③・④	1	選択必修	講義	メディア
			多文化共生A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			多文化共生B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
			都市の文化と思想	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
社会思想史			1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
先進技術と情報生態の人類学			1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
比較文化関係論			1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
グローバリゼーション			1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
社会と宗教			1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
生命と倫理			1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
文化社会学			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
現代文化論			2③・④	1	選択必修	講義	メディア	
コミュニケーション論B			2③・④	1	選択必修	講義	メディア	
社会と先端医療			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
保健福祉学概論			2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
社会と環境	2②・④	1	選択必修	講義	メディア			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考	
	B群	日本国憲法	1①・③	2	選択必修	講義	メディア	
		社会と福祉	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会学概論B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会心理学概論A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会心理学概論B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		経済人類学	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		地域経済とグローバリズム	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		アジア経済論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		政治学	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		国際化と日本	1③・④	1	選択必修	講義	メディア	
		国際関係概論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		問題発見・解決の方法	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		脱近代社会と労働の社会学	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		役割離脱論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		コミュニティの国際比較	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		人の移動と民族問題	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査概論Ⅰ	2①	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査概論Ⅱ	2②	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査方法論Ⅰ	2③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会調査方法論Ⅱ	2④	1	選択必修	講義	メディア	
		協調の手法	2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		社会学概論A	2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		戦後社会論	2②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		社会システム論	2②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		C群	数学入門Ⅰ	1①・③	1	選択必修	講義	メディア
			数学入門Ⅱ	1②・④	1	選択必修	講義	メディア
	数学応用Ⅰ		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	数学応用Ⅱ		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	物理学概論Ⅰ		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	物理学概論Ⅱ		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	生物学概論A		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	生物学概論B		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	予防医学		1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	生命と人間		1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	D群	現代社会の課題と探究A	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会の課題と探究B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		現代社会の課題と探究C	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
	キャリア形成科目	ボランティア論	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		キャリアデザイン	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
	健康科目	運動と健康A	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		運動と健康B	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		アスリートの心理と身体	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
脳とこころ・身体		1②・④	1	選択必修	講義	メディア		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考		
専門教育科目	人間福祉基礎	人間理解	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
			人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
			人間福祉臨床論	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
			心理学概論Ⅰ	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
			心理学概論Ⅱ	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
		生活理解	社会学原論Ⅰ	1①・③	1	選択必修	講義	メディア	
			社会学原論Ⅱ	1②・④	1	選択必修	講義	メディア	
			現代社会と福祉Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
			現代社会と福祉Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア	
			現代社会と福祉Ⅲ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
			現代社会と福祉Ⅳ	2②・④	1	必修	講義	メディア	
			障害者福祉論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
			障害者福祉論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア	
			権利擁護と成年後見制度Ⅰ	2①・③	1	選択必修	講義	メディア	
		権利擁護と成年後見制度Ⅱ	2②・④	1	選択必修	講義	メディア		
		地域基盤理解	人間福祉学総論	1①・③	1	必修	講義	メディア	
			社会保障論Ⅰ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
			社会保障論Ⅱ	2②・④	1	必修	講義	メディア	
			社会保障論Ⅲ	2①・③	1	必修	講義	メディア	
	社会保障論Ⅳ		2②・④	1	必修	講義	メディア		
	地域福祉の理論と方法Ⅰ		2①・③	1	必修	講義	メディア		
	地域福祉の理論と方法Ⅱ		2②・④	1	必修	講義	メディア		
	地域福祉の理論と方法Ⅲ		2①・③	1	選択必修	講義	メディア		
	地域福祉の理論と方法Ⅳ		2②・④	1	選択必修	講義	メディア		
	保健医療サービスⅠ		2①・③	1	選択必修	講義	メディア		
	保健医療サービスⅡ		2②・④	1	選択必修	講義	メディア		
	共生社会論		2②・④	1	選択必修	講義	メディア		
	福祉施設・病院経営論		2②・④	1	選択必修	講義	メディア		
	公的扶助論Ⅰ		3①・③	1	必修	講義	メディア		
	公的扶助論Ⅱ		3②・④	1	必修	講義	メディア		
	福祉行財政と福祉計画Ⅰ		3①・③	1	選択必修	講義	メディア		
	福祉行財政と福祉計画Ⅱ		3②・④	1	選択必修	講義	メディア		
	社会福祉		人間生活のシステム	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ		2②・④	1	選択	講義	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ		2①・③	1	選択	講義	メディア	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ		2②・④	1	選択	講義	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅰ		2①・③	1	選択	講義	メディア	
		福祉サービスの組織と経営Ⅱ		2②・④	1	選択	講義	メディア	
		就労支援サービス		2①・③	1	選択	講義	メディア	
		更生保護制度		2②・④	1	選択	講義	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ		3①・③	1	選択	講義	メディア	
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ		3②・④	1	選択	講義	メディア	
		相談援助の知識		相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2①・③	2	選択	講義	メディア
				相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2②・④	2	選択	講義	メディア
			相談援助の理論と方法Ⅰ	2①・③	2	選択	講義	メディア	
			相談援助の理論と方法Ⅱ	2②・④	2	選択	講義	メディア	
			相談援助の理論と方法Ⅲ	2①・③	2	選択	講義	メディア	
相談援助の理論と方法Ⅳ			2②・④	2	選択	講義	メディア		
相談援助の技術			相談援助演習Ⅰ	1①～②	2	選択	演習	メディア・面接	
			相談援助演習Ⅱ	2①～③	4	選択	演習	メディア・面接	
		相談援助演習Ⅲ	3③～④②	4	選択	演習	メディア・面接		
		相談援助実習指導Ⅰ	3①～②	3	選択	演習	メディア・面接		
	相談援助実習指導Ⅱ	3③～④②	3	選択	演習	メディア・面接			
	相談援助実習	3④～④①	4	選択	実習	面接			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	必修・選択	授業形態	備考		
包括ケア	包括ケア基礎	地域包括ケア概論	3①・③	1	必修	講義	メディア	
		生活支援論	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		地域居住と包括ケア	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		介護の基本	3②・④	1	選択	講義	メディア	
	看護学	基礎看護学Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		基礎看護学Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		看護学概論Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		看護学概論Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		母性看護学Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		母性看護学Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		成人看護学Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		成人看護学Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		老年看護学Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		老年看護学Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		精神看護学Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		精神看護学Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		在宅看護論Ⅰ	4①・③	1	選択	講義	メディア	
		在宅看護論Ⅱ	4②・④	1	選択	講義	メディア	
		小児看護学Ⅰ	4①・③	1	選択	講義	メディア	
		小児看護学Ⅱ	4②・④	1	選択	講義	メディア	
	医療・保健	薬理学Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		薬理学Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		生化学Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		生化学Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		症候論Ⅰ	2①・③	1	選択	講義	メディア	
		症候論Ⅱ	2②・④	1	選択	講義	メディア	
		医療看護関係法規	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		病原微生物学・免疫学Ⅰ	3①・③	1	選択	講義	メディア	
		病原微生物学・免疫学Ⅱ	3②・④	1	選択	講義	メディア	
		公衆衛生学Ⅰ	4①・③	1	選択	講義	メディア	
	公衆衛生学Ⅱ	4②・④	1	選択	講義	メディア		
	精神保健福祉	人間生活のシステム	精神障害者の生活支援システム	3①・③	2	選択	講義	メディア
			精神疾患とその治療Ⅰ	3①・③	2	選択	講義	メディア
			精神疾患とその治療Ⅱ	3②・④	2	選択	講義	メディア
			精神保健の課題と支援Ⅰ	3①・③	2	選択	講義	メディア
			精神保健の課題と支援Ⅱ	3②・④	2	選択	講義	メディア
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ			3①・③	2	選択	講義	メディア	
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		3②・④	2	選択	講義	メディア		
相談援助の知識		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	2①・③	2	選択	講義	メディア	
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	2②・④	2	選択	講義	メディア	
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	2①・③	2	選択	講義	メディア	
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	2②・④	2	選択	講義	メディア	
		精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ	2①・③	2	選択	講義	メディア	
		精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ	2②・④	2	選択	講義	メディア	
相談援助の技術		精神保健福祉援助演習Ⅰ	1①～②	2	選択	演習	メディア・面接	
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	3③～④	2	選択	演習	メディア・面接	
		精神保健福祉援助演習Ⅲ	4①～④②	2	選択	演習	メディア・面接	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3①～②	2	選択	演習	メディア・面接	
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	3③～④	2	選択	演習	メディア・面接	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4①～②	2	選択	演習	メディア・面接		
卒業研究	リサーチレポート	精神保健福祉援助実習Ⅰ	3④	2	選択	実習	面接	
		精神保健福祉援助実習Ⅱ	4①	2	選択	実習	面接	

別表2 卒業要件

(1) 情報マネジメント学部

科目区分	必修・選択	履修要領
導入科目	必修	1単位（学術研究の本質）
	選択必修	4単位以上
外国語科目	選択必修	2単位以上
情報科目	選択必修	2単位以上
科学の探究科目	選択必修	A群、B群、C群、D群の各群から各2単位以上かつ合計で25単位以上
キャリア形成科目	選択必修	1単位以上
健康科目	選択必修	2単位以上
専門教育科目	必修	75単位（情報マネジメント総論A、情報マネジメント総論B、情報倫理、デザイン思考概論、社会と情報Ⅰ、社会と情報Ⅱ、情報化社会とテクノロジーⅠ、情報化社会とテクノロジーⅡ、生活環境デザインⅠ、生活環境デザインⅡ、ヒューマンインタフェースⅠ、ヒューマンインタフェースⅡ、先端応用、ネットワークとサービスⅠ、ネットワークとサービスⅡ、テクノロジーマーケティングⅠ、テクノロジーマーケティングⅡ、社会情報処理Ⅰ、社会情報処理Ⅱ、メディアの社会学、情報メディアとデザインの文明論、教授メディアと学習、ネット依存と心理、初級プログラミングⅠ、初級プログラミングⅡ、初級プログラミング演習Ⅰ、初級プログラミング演習Ⅱ、初級オブジェクト指向プログラミング、初級セキュアプログラミング、データ構造とアルゴリズムⅠ、データ構造とアルゴリズムⅡ、プログラミング演習Ⅰ、プログラミング演習Ⅱ、プログラミング演習Ⅲ、プログラミング演習Ⅳ、ソフトウェア総論Ⅰ、ソフトウェア総論Ⅱ、ハードウェア総論Ⅰ、ハードウェア総論Ⅱ、システム総論Ⅰ、システム総論Ⅱ、システム設計Ⅰ、システム設計Ⅱ、データベース論Ⅰ、データベース論Ⅱ、インターネット技術Ⅰ、インターネット技術Ⅱ、サーバ構築演習Ⅰ、サーバ構築演習Ⅱ、社会とサイバーセキュリティ、情報セキュリティⅠ、情報セキュリティⅡ、データ匿名化演習Ⅰ、データ匿名化演習Ⅱ、情報マネジメント戦略Ⅰ、情報マネジメント戦略Ⅱ、経済学入門、ビジネスマナー、ビジネスライティングA、ビジネスライティングB、社会統計学Ⅰ、社会統計学Ⅱ、経営学入門、簿記概論、IT産業論、ベンチャー論、マーケティング概論Ⅰ、マーケティング概論Ⅱ、経営戦略、ビジネスデータ分析Ⅰ、ビジネスデータ分析Ⅱ、情報ビジネス論Ⅰ、情報ビジネス論Ⅱ、プロジェクトマネジメントの手法、経営組織論）
	選択	科目区分「情報社会」、「情報システム」、「マネジメント」から12単位以上

※本学は単位制を採用し、124単位以上を修得することを卒業要件とする。

※他学部の専門教育科目については20単位まで専門教育科目の単位として認定する。

(2) 人間福祉学部

科目区分	必修・選択	履修要領
導入科目	必修	1 単位 (学術研究の本質)
	選択必修	4 単位以上
外国語科目	選択必修	2 単位以上
情報科目	選択必修	2 単位以上
科学の探究科目	選択必修	A 群、B 群、C 群、D 群の各群から各 2 単位以上かつ合計で 2.5 単位以上
キャリア形成科目	選択必修	1 単位以上
健康科目	選択必修	2 単位以上
専門教育科目	必修	1.6 単位 (現代社会と福祉Ⅰ、現代社会と福祉Ⅱ、現代社会と福祉Ⅲ、現代社会と福祉Ⅳ、障害者福祉論Ⅰ、障害者福祉論Ⅱ、人間福祉学総論、社会保障論Ⅰ、社会保障論Ⅱ、社会保障論Ⅲ、社会保障論Ⅳ、地域福祉の理論と方法Ⅰ、地域福祉の理論と方法Ⅱ、公的扶助論Ⅰ、公的扶助論Ⅱ、地域包括ケア概論)
	選択必修	科目区分「人間福祉基礎」の「人間理解」「生活理解」「地域基盤理解」から 1.5 単位以上
	選択	上記の「必修」、「選択必修」以外の科目から 5.6 単位以上

※本学は単位制を採用し、12.4 単位以上を修得することを卒業要件とする。

※他学部の専門教育科目については 2.0 単位まで専門教育科目の単位として認定する。

別表3 資格関係科目

(1) 社会福祉士 国家試験受験資格取得に必要な科目一覧

指定科目の名称	授業科目の名称	科目区分	単位数	開講年次
心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	心理学概論Ⅱ	専門教育科目	1	1
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門教育科目	1	1
	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門教育科目	1	1
社会理論と社会システム	社会学原論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	社会学原論Ⅱ	専門教育科目	1	1
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅱ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅲ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅳ	専門教育科目	1	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	障害者福祉論Ⅱ	専門教育科目	1	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅱ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅲ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅳ	専門教育科目	1	2
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門教育科目	1	3
	公的扶助論Ⅱ	専門教育科目	1	3
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門教育科目	1	2
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門教育科目	1	3
	福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門教育科目	1	3
保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門教育科目	1	2
	保健医療サービスⅡ	専門教育科目	1	2
社会調査の基礎	社会調査概論Ⅰ	教養教育科目	1	2
	社会調査概論Ⅱ	教養教育科目	1	2
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門教育科目	1	2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門教育科目	1	2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅲ	専門教育科目	1	2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅳ	専門教育科目	1	2
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門教育科目	1	3
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門教育科目	1	3
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門教育科目	1	2
	福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門教育科目	1	2
就労支援サービス	就労支援サービス	専門教育科目	1	2
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門教育科目	1	2
	権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門教育科目	1	2
更生保護制度	更生保護制度	専門教育科目	1	2
相談援助の基盤と専門職	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	専門教育科目	2	2
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	専門教育科目	2	2
相談援助の理論と方法	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅱ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅲ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅳ	専門教育科目	2	2
相談援助演習	相談援助演習Ⅰ	専門教育科目	2	1
	相談援助演習Ⅱ	専門教育科目	4	2
	相談援助演習Ⅲ	専門教育科目	4	3・4
相談援助実習指導	相談援助実習指導Ⅰ	専門教育科目	3	3
	相談援助実習指導Ⅱ	専門教育科目	3	3・4
相談援助実習	相談援助実習	専門教育科目	4	3・4

※1 指定科目「心理学理論と心理的支援」「人体の構造と機能及び疾病」「社会理論と社会システム」の中から1科目以上

※2 指定科目「就労支援サービス」「権利擁護と成年後見制度」「更生保護制度」の中から1科目以上

※3 ※1※2に記載の指定科目以外はすべて履修

(2) 精神保健福祉士 国家試験受験資格取得に必要な科目一覧

指定科目の名称	授業科目の名称	科目区分	単位数	開講年次
心理学理論と心理的支援	心理学概論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	心理学概論Ⅱ	専門教育科目	1	1
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門教育科目	1	1
	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門教育科目	1	1
社会理論と社会システム	社会学原論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	社会学原論Ⅱ	専門教育科目	1	1
現代社会と福祉	現代社会と福祉Ⅰ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅱ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅲ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅳ	専門教育科目	1	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	障害者福祉論Ⅱ	専門教育科目	1	2
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度Ⅰ	専門教育科目	1	2
	権利擁護と成年後見制度Ⅱ	専門教育科目	1	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅱ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅲ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅳ	専門教育科目	1	2
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論Ⅰ	専門教育科目	1	3
	公的扶助論Ⅱ	専門教育科目	1	3
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門教育科目	1	2
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門教育科目	1	3
	福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門教育科目	1	3
保健医療サービス	保健医療サービスⅠ	専門教育科目	1	2
	保健医療サービスⅡ	専門教育科目	1	2
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	専門教育科目	2	3
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	専門教育科目	2	3
精神障害者の生活支援システム	精神障害者の生活支援システム	専門教育科目	2	3
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療Ⅰ	専門教育科目	2	3
	精神疾患とその治療Ⅱ	専門教育科目	2	3
精神保健の課題と支援	精神保健の課題と支援Ⅰ	専門教育科目	2	3
	精神保健の課題と支援Ⅱ	専門教育科目	2	3
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	精神保健福祉相談援助の基盤Ⅰ	専門教育科目	2	2
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ	専門教育科目	2	2
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	専門教育科目	2	2
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	専門教育科目	2	2
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	専門教育科目	2	2
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	専門教育科目	2	2
精神保健福祉援助演習（基礎）	精神保健福祉援助演習Ⅰ	専門教育科目	2	1
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健福祉援助演習Ⅱ	専門教育科目	2	3
	精神保健福祉援助演習Ⅲ	専門教育科目	2	4
	精神保健福祉援助演習Ⅳ	専門教育科目	2	4
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	専門教育科目	2	3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	専門教育科目	2	3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	専門教育科目	2	4
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習Ⅰ	専門教育科目	2	3
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	専門教育科目	2	4

※1 指定科目「心理学理論と心理的支援」「人体の構造と機能及び疾病」「社会理論と社会システム」の中から1科目以上
 ※2 ※1に記載の指定科目以外はすべて履修

(3) 上級情報処理士取得に必要な科目一覧

領域	資格到達目標の区分	授業科目の名称	資格必修・選択	科目区分	単位数	開講年次
領域1	情報実務の知識・スキル・働く基本能力を修得し活用する基礎的実務実践力の領域	IT産業論	●	専門教育科目	1	2
		情報倫理	●	専門教育科目	1	2
		情報基礎Ⅰ	○	教養教育科目	1	1
		情報基礎Ⅱ	○	教養教育科目	1	1
		システム総論Ⅰ	○	専門教育科目	1	2
		システム総論Ⅱ	○	専門教育科目	1	2
		システム設計Ⅰ	○	専門教育科目	1	3
		システム設計Ⅱ	○	専門教育科目	1	3
		社会情報処理Ⅰ	○	専門教育科目	1	1
		社会情報処理Ⅱ	○	専門教育科目	1	1
		プログラミング演習Ⅰ	○	専門教育科目	1	3
		プログラミング演習Ⅱ	○	専門教育科目	1	3
		領域2	情報実務の専門知識・スキルを修得し、総合的に活用する専門的実務実践力の領域	初級セキュアプログラミング	●	専門教育科目
社会とサイバーセキュリティ	●			専門教育科目	1	3
サーバ構築演習Ⅰ	●			専門教育科目	1	3
サーバ構築演習Ⅱ	●			専門教育科目	1	3
先端応用	○			専門教育科目	1	4
情報セキュリティⅠ	○			専門教育科目	1	3
情報セキュリティⅡ	○			専門教育科目	1	3
データ匿名化演習Ⅰ	○			専門教育科目	1	3
データ匿名化演習Ⅱ	○			専門教育科目	1	3
社会統計学Ⅰ	○			専門教育科目	1	2
社会統計学Ⅱ	○			専門教育科目	1	2
プログラミング演習Ⅲ	○			専門教育科目	1	3
プログラミング演習Ⅳ	○			専門教育科目	1	3
協調の手法	○			教養教育科目	1	2
プロジェクトマネジメントの手法	○			専門教育科目	1	3
領域3	課題発見力・解決力と学びの継続力の領域	インターンシップB	●	専門教育科目	2	3
		社会調査演習Ⅰ	○	専門教育科目	1	4
		社会調査演習Ⅱ	○	専門教育科目	1	4
		社会調査演習Ⅲ	○	専門教育科目	1	4
		社会調査演習Ⅳ	○	専門教育科目	1	4

※資格の必修・選択の欄については、資格教育課程の必修科目を●(資格必修科目)、選択科目を○(資格選択科目)と表記

※資格必修科目の単位で「領域1」から2単位以上、「領域2」から4単位以上、「領域3」から2単位以上履修

※資格選択科目の単位で「領域1、2、3」から16単位以上履修

※全体で24単位以上履修

(4) 情報処理士取得に必要な科目一覧

領域	資格到達目標の区分	授業科目の名称	資格必修・選択	科目区分	単位数	開講年次
領域1	情報実務の知識・スキル・態度と実務実践力の領域	IT産業論	●	専門教育科目	1	2
		ソフトウェア総論Ⅰ	●	専門教育科目	1	2
		システム総論Ⅰ	○	専門教育科目	1	2
		システム総論Ⅱ	○	専門教育科目	1	2
		情報基礎Ⅰ	○	教養教育科目	1	1
		情報基礎Ⅱ	○	教養教育科目	1	1
		ソフトウェア総論Ⅱ	○	専門教育科目	1	2
		社会情報処理Ⅰ	○	専門教育科目	1	1
		社会情報処理Ⅱ	○	専門教育科目	1	1
領域2	情報実務を支える学修の基礎能力と教養の領域	情報マネジメント総論A	●	専門教育科目	1	1
		情報マネジメント総論B	●	専門教育科目	1	1
		ビジネスマナー	○	専門教育科目	1	2
		協調の手法	○	教養教育科目	1	2
		社会と倫理	○	教養教育科目	1	1
		現代社会論	○	教養教育科目	1	1
領域3	総合的課題解決と学修継続力の領域	初級プログラミング演習Ⅰ	●	専門教育科目	1	2
		初級プログラミング演習Ⅱ	●	専門教育科目	1	2
		インターンシップA	○	専門教育科目	1	3
		インターンシップB	○	専門教育科目	2	3

※資格の必修・選択の欄については、資格教育課程の必修科目を●(資格必修科目)、選択科目を○(資格選択科目)と表記

※資格必修科目の単位で「領域1」から2単位以上、「領域2」から2単位以上、「領域3」から2単位以上履修

※資格選択科目の単位で「領域1、2、3」から10単位以上履修

※全体で16単位以上履修

(5) 社会調査士取得に必要な科目一覧

指定科目の名称	授業科目の名称	科目区分	単位数	開講年次
【A】 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査概論Ⅰ	教養教育科目	1	2
	社会調査概論Ⅱ	教養教育科目	1	2
【B】 調査設計と実施方法に関する科目	社会調査方法論Ⅰ	教養教育科目	1	2
	社会調査方法論Ⅱ	教養教育科目	1	2
【C】 基本的な資料とデータの分析に関する科目	社会情報処理Ⅰ	専門教育科目	1	1
	社会情報処理Ⅱ	専門教育科目	1	1
【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目	社会統計学Ⅰ	専門教育科目	1	2
	社会統計学Ⅱ	専門教育科目	1	2
【E】 多変量解析の方法に関する科目 (【E】か【F】どちらかを選択)	ビジネスデータ分析Ⅰ	専門教育科目	1	3
	ビジネスデータ分析Ⅱ	専門教育科目	1	3
【F】 質的な調査と分析の方法に関する科目 (【E】か【F】どちらかを選択)	質的調査Ⅰ	専門教育科目	1	2
	質的調査Ⅱ	専門教育科目	1	2
【G】 社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査演習Ⅰ	専門教育科目	1	4
	社会調査演習Ⅱ	専門教育科目	1	4
	社会調査演習Ⅲ	専門教育科目	1	4
	社会調査演習Ⅳ	専門教育科目	1	4

(6) 社会福祉主事任用資格取得に必要な科目一覧

指定科目の名称	授業科目の名称	科目区分	単位数	開講年次
心理学	心理学概論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	心理学概論Ⅱ	専門教育科目	1	1
社会福祉概論	現代社会と福祉Ⅰ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅱ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅲ	専門教育科目	1	2
	現代社会と福祉Ⅳ	専門教育科目	1	2
社会学	社会学原論Ⅰ	専門教育科目	1	1
	社会学原論Ⅱ	専門教育科目	1	1
身体障害者福祉論	障害者福祉論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	障害者福祉論Ⅱ	専門教育科目	1	2
社会保障論	社会保障論Ⅰ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅱ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅲ	専門教育科目	1	2
	社会保障論Ⅳ	専門教育科目	1	2
公的扶助論	公的扶助論Ⅰ	専門教育科目	1	3
	公的扶助論Ⅱ	専門教育科目	1	3
地域福祉論	地域福祉の理論と方法Ⅰ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅲ	専門教育科目	1	2
	地域福祉の理論と方法Ⅳ	専門教育科目	1	2
社会福祉行財政論	福祉行財政と福祉計画Ⅰ	専門教育科目	1	3
	福祉行財政と福祉計画Ⅱ	専門教育科目	1	3
社会福祉調査論	社会調査概論Ⅰ	教養教育科目	1	2
	社会調査概論Ⅱ	教養教育科目	1	2
経済学	経済学入門	専門教育科目	1	1
老人福祉論	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	専門教育科目	1	2
	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	専門教育科目	1	2
児童福祉論	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ	専門教育科目	1	3
	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅱ	専門教育科目	1	3
社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営Ⅰ	専門教育科目	1	2
	福祉サービスの組織と経営Ⅱ	専門教育科目	1	2
社会福祉援助技術論	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	専門教育科目	2	2
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅰ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅱ	専門教育科目	2	2
	相談援助の理論と方法Ⅲ	専門教育科目	2	2
医学一般	相談援助の理論と方法Ⅳ	専門教育科目	2	2
	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ	専門教育科目	1	1
看護学	人体の構造と機能及び疾病Ⅱ	専門教育科目	1	1
	看護学概論Ⅰ	専門教育科目	1	2
介護概論	看護学概論Ⅱ	専門教育科目	1	2
	介護の基本	専門教育科目	1	3
公衆衛生学	公衆衛生学Ⅰ	専門教育科目	1	4
	公衆衛生学Ⅱ	専門教育科目	1	4
精神障害者保健福祉論	精神保健の課題と支援Ⅰ	専門教育科目	2	3
	精神保健の課題と支援Ⅱ	専門教育科目	2	3

※指定科目から3科目以上履修

別表4 授業料等

(1) 正科生

選考料		10,000 円
入学金		20,000 円
授業料	1 年目	180,000 円
	2 年目	180,000 円
	3 年目	80,000 円
	4 年目	80,000 円
(2 年次編入)	1 年目	180,000 円
	2 年目	180,000 円
	3 年目	80,000 円
(3 年次編入)	1 年目	180,000 円
	2 年目	80,000 円
(4 年次編入)	1 年目	180,000 円
学籍管理料(年間)		20,000 円

(2) 科目等履修生

入学金	3,000 円
授業料 (単位)	5,000 円
学籍管理料(1 学期間)	2,500 円

(3) 聴講生

入学金	3,000 円
授業料 (単位)	4,500 円
学籍管理料(1 学期間)	2,500 円

(4) 特修生

入学金	3,000 円
授業料 (単位)	5,000 円
学籍管理料(1 学期間)	2,500 円